
読書感想文2011

ひまでひっくりかえる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

読書感想文2011

【Nコード】

N9661V

【作者名】

ひまでひっくりかえる

【あらすじ】

懐かしくて、「冗談で感想文を作ってみました。

中学生を意識した読書感想文の例文調に書いていますが、かなり辛辣でひどい内容が含まれます。

皮肉なものが苦手な方はぜひバックをお願いいたします。

「もしドラ」アニメについて少し書いてありますが、ネタばれ等は一切ありません。

そんな方はいらっしやらないでしょうが、コピー不可。

（前書き）

まる写し不可でお願いします。

ご質問はお受けできません、ごめんなさい。

かなり辛辣でひどい内容が含まれますので、皮肉な内容が苦手な方はバックなさってください、ぜひ。

「もしドラ」アニメについて少し書いてありますが、ネタばれ等は一切ありません。

そんな方はいらっしやらないでしょうが、コピペ不可。

マルクス「資本論」を読んで

○年○組○○○○○

わたしが、この本を手にとってみようと思ったのは、「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」というNHKのアニメを見たからです。

アニメ自体はすぐおもしろかったんですが、「マネジメント」という言葉の意味は正直むずかしくてわかりませんでした。その本ともつながりもちよつとわかりづらかったです。ドラッカーという人も知りません。

ドラッカーという人について、インターネットで調べてみたら、「経営学」のえらい人らしいです。でも、経営学というのもよくわかりませんでした。

本屋さんに行きました。原作の本があるそうなんですが、たぶんアニメと同じなんじゃないかと思ったので、お小づかいももつたないのでそれを買うのはやめました。

お店の人に相談してみました。そしたら、アニメに出てきた本があるといいます。見せてもらいました。アニメでみなみちゃんがついていたのおんなじ色の大きな本でした。

タイトルは忘れてしまいましたが、「経営論」で書いてありました。「エッセンシャル版」でついていました。なんかそういうシャンプーがあつたのを思い出します。

値段を見たら、2000円もしました。それに、字が細かくて、むずかしそうです。なのでこれも買うのをやめました。

もう一回お店の人に相談してみました。「もっと安く、もっと基本的なのをください」って言うてみました。

そしたら、お店の店長さんという人が、すぐちっちゃい本を出

してくれました。

「これはね、経営学を勉強した人であれば一度は読んだことがあるんじゃないかなあ」そんな感じで教えてくれました。それは、原作っていう意味なんでしょうか。

ほかにどんな本を買っていいかぜんぜんわからなかったし、とにかく安かったので、それを買ってみました。

字が小さくて読みづらかったです。さし絵もなかったです。

何を書いてあるのかぜんぜんわからなかったので、途中でYAHOO!の知恵袋というところで聞いてみました。

もしかしたら、知恵コインをいっぱい出せば書いてくれる人がいるかもしれないと思いました。なので、お願いしてみたら、みんな「自分で書け」「親にたのめ」「ここにそんなこと書くな」とかひどい答えしか帰ってきません。

大人は子どもを育てる義務があるはずなのに、みんなひどいです。うちは先生も知っているように、お父さんがいません。なので、お母さんが毎日一生けんめい働いてくれます。お母さんはとてもいそがしくていつもつかれているので、宿題をやってもらうなんてひどいことはできません。

でも、たしかに質問ではなかったのでそこに書くことじゃなかったのかもしれませんが。「こうやって書いたらいいよ」って教えてくれる親切な人もいたので、本も読みかけだし、もう少し読んでみることにしました。

いちど読んでみてもよく意味がわからなかったので、もう一回、読んでみました。教わったとおりにメモを取ったり、ふせん（しおりのことですよね）をつけてみました。

少し内容がわかる気がしました。

1章のタイトルに「商品と貨幣」とありました。貨幣というのを辞書で調べてみたら「お金」とありました。

商品は、二種類の「価値」で分けられるそうです。一つめが「使用価値」で、二つめが「交換価値」だそうです。それで、その二つ

が等価の場合、交換できるそうです。「鋼の錬金術師」を思い出しました。

使用価値、というのは、具体的な品物のことらしいです。たとえば服とか食べ物とか。交換価値は、他のものと交換するためのなにかのことらしいです。要するに、お金そのもののことでしょうか。

そのあとに、「二つの商品が等価であるとき、その商品の生産に使われた労働の量が等しい」と書いてありました。労働って働くという意味ですよ。これはなんとなく意味がわかります。

次はすごくびっくりしたことです。

ある会社で1日8時間かけて1枚のシャツを作る人と、1日8時間かけて7枚のシャツを作る人がいる場合、全体として16時間で9枚のシャツができます。会社全体として、8枚の商品があり、1枚にかかる平均の時間は2時間ということになります。

そうすると、シャツを1枚作った人は、なまけたわけじゃなくて8時間働いたのに、1枚しかできなかったので、2時間働いた分の価値しかもらうことができません。7枚作った人は、7枚かける2時間で、14時間分の価値をもらうことができます。

すごくきびしいけど、世の中はそういうものなんでしょうか。

もう夏休みも終わるので、ここまでしか読めなかったけど書いてみようと思いました。人のをまる写ししようかとも思ったのですが、きつとばれてしまうと思ってできませんでした。

この感想文に置き換えて考えることもできるんじゃないかなあと思いました。頭のいい人は、6時間かければきつと原稿用紙3枚くらいを書くことができますが、わたしは6時間かけても原稿用紙を1枚しか書けません。

すごく不公平だと思っていたのですが、クラス全体で考えれば、12時間かけて4枚の原稿用紙が書かれたことになります。計算は苦手なのですが、平均3時間で1枚書かれたことになりますよね。そうすると、頭のいい人は3枚かける3時間で9時間分の評価をもらえることになります。わたしは3時間分の評価しかもらえない

ことになります。

なんだかとても残念なのですが、そういうものなんですね。
一生けんめい頑張りました。怒らないでください。

終わり。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9661v/>

読書感想文2011

2011年8月21日03時23分発行